

日本ロシア語教育学会 第3回研究集会 2023
発表要旨
Аннотации докладов 3-го итогового собрания ЯАИПР

2023年12月3日
3 декабря 2023 г.

【第1部】 基調講演・京都外国語大学最終講義

「ヒト・ことば・文化・紛争 – Quo Vadis?」
講師：林田理恵氏（京都外国語大学教授）

ヒトの存在にとって、ことばの役割とは？ヒトとヒトが世界を紡ぐとき、ことばはどのようにかかわるのか？ことばは民族・集団ごとのメンテナンス機構-文化を綾なす。一方で、文化の違いは残念ながら民族・集団中心主義、民族・集団間の紛争を生み出してしまふ。

ボーダレスなグローバル化した世界のメンテナンス機構をヒトは創り上げることができるのか？AI の登場でその役割が根本から問い直されることば学習。地球レベルのメンテナンス機構創設という問題は、ことば学習の今後のあり方にも深くかかわりを持つであろう。混迷するヒト・ことば・世界の行く末をフロアと議論したい。

【第2部】 研究報告

1. 「スロバキアの学校で使用されているロシア語の教科書」
«Учебники русского языка, используемые в школах Словакии»
池田有里（大阪大学）
ИКЭДА Юри（Осакский университет）

本発表では、スロバキアの学校で使用されているロシア語の教科書、特に«Встречи с Россией»と、デジタル教科書«Встречи с Россией. Начало»（A1-A2レベル）、«Встречи с Россией. Сегодня»（B1-C1レベル）の内容や特徴に焦点を当て、日本の高等学校で使用されているロシア語の教科書の内容とも比較する。

2. 「心理的言語類型論の研究動向について」
«Лингвистическая психотипология: теория и история»
賀イキ（大阪大学）
ХЭ Вэйци（Осакский университет）

本発表では、近年第二言語教育・第三言語教育における注目されつつある心理的言語類型論（psychotypology）について、現在までの研究動向を概観する。特にロシア語を第二言語・第三言語としての心理的類型論の研究を整理することに焦点を当てたい。ただし、ロシア語を対象言語としての心理的言語類型論を扱った研究はまだ少ないため、まず、心理的言語類型論の研究動向を

概観し、その後、ロシア語教育に関する心理的言語類型論の研究について述べる。そして、将来的にその研究成果を言語学習環境設計やカリキュラムデザインなどの段階から活用することに向け、その可能性を検討するとともに、教育的示唆を得たい。

3. «Анализ ошибок, допущенных машинным переводом, как приём обучения студентов-русистов»
ラティシェヴァ スヴェトラナ（上智大学）
ЛАТЫШЕВА Светлана (Университет Дзёти)

В настоящее время на фоне постоянного совершенствования качества машинного перевода и высокого уровня текстов, получаемых на целевом языке, выявление ошибок, допущенных машинным переводом, и их анализ могут стать одним из новых видов работы в процессе обучения русскому языку.

4. 「海外ロシア語研修・留学の新たな可能性を探る—カザフスタンとキルギスを事例として—」
«Новые горизонты языковых стажировок. Японские студенты в Казахстане и Кыргызстане»
臼山利信, 梶山祐治, 徳田由佳子, 加藤百合, 山本祐規子, 光井明日香
（筑波大学）
КАДЗИЯМА Юдзи, КАТО Юри, МИЦУИ Асука, ТОКУДА Юкако,
УСУЯМА Тосинобу, ЯМАМОТО Юкико (Университет Цукуба)

本報告は、筑波大学がこれまで実施してきたロシア語圏での研修内容等を考察し、海外ロシア語研修・留学の新たな可能性を探ることが目的である。ロシアに学生を派遣することが難しい現在、ロシア語を公用語とするカザフスタンとキルギスは今後の派遣先として大きな可能性を秘めており、その教育効果を検討・報告する。

5. 「AIとの共生時代—ChatGPTを活用したロシア語授業の展開—」
«Эпоха принятия ИИ. ChatGPT на уроках РКИ»
バリノワ アンナ, 菱川邦俊, ミソチコ グリゴリー, 三好マリア（京都外国語大学）
БАРИНОВА Анна, МИЁСИ Мария,
МИСОЧКО Григорий, ХИСИКАВА Кунитоси
（Киотский университет иностранных языков）

本報告では、ChatGPTをはじめとする生成 AI をロシア語教育の現場でいかに活用し得るかについて、京都外国語大学が教育現場で実践している COIL 型授業、会話授業、TRKI 対策等の取り組み事例から考察し、その課題・問題点に言及しつつ、教育効果を検討し報告する。